

【岡山県倉敷市】【岡山労働局ハローワーク倉敷中央×東京労働局 東京新卒応援ハローワーク】 倉敷市・ハローワークがU I Jターン支援事業の実施のため「実行委員会」を組織

【課題・目的】

東京等大都市圏集中の是正に向けて、「新しい人の流れ」を作り出し、就労を喚起することで若年層等を倉敷市へ広く呼び込むことが重要。そのため、倉敷市とハローワーク倉敷中央が連携して「倉敷市UIJターン支援事業実行委員会」を立ち上げ、東京・大阪において「倉敷市U I Jターン就職フェア（就職面接会）」を開催した。

- ※ 実行委員会では、このフェアのほか、就職面接会に参加した企業や来場者に対する交通費の助成などを実施。同じメンバーで各種連携事業を検討することが可能。
- ※ 「高梁川流域圏成長戦略ビジョン」においても「U I Jターンによる就職促進を目指す」とされている。

【実施概要】

（東京会場）平成27年8月24日 場所：東京新卒応援ハローワーク（東京都新宿区）
（大阪会場）平成27年8月28日 場所：梅田クリスタルホール（大阪市北区）

- ※ 周知にあたっては、岡山労働局から東京労働局に対して管内ハローワークへのポスター掲示・チラシ配布、大学等への情報提供を依頼（関西圏等も同様に依頼）。
- ※ 面接会場には「U I Jターン相談コーナー」を設置。ハローワークは職業相談を、市は移住・定住相談を担当。
- ※ 「U I Jターン相談コーナー」で職業相談した学生に対しては、その後もハローワークに係る情報提供をするなどフォローを実施。

【役割分担】

【倉敷市U I Jターン支援事業実行委員会】（倉敷市・国）
 ・参加事業所の選定（倉敷市・国）
 ・会場の確保（東京）（国） ・求人情報一覧表作成（国）
 ・面接会の周知、広報（倉敷市・国）
 ・U I Jターン相談コーナー（倉敷市・国）

【委託業者】
 ・会場の確保（大阪）
 ・面接会の周知・広報
 ・総合受付
 ・なんでも相談コーナー 等

【効果】

- ◆ 当日参加事業所 東京会場：16社 大阪会場：20社
- ◆ 当日参加学生等 東京会場：9名 大阪会場：15名
- ◆ 延べ面談件数 東京会場：17件 大阪会場：38件



《企業ブースでの面接》

＜倉敷市コメント＞

一人でも多くの就職に結びつけ、若年層を倉敷に呼び込むため、今後もハローワークと連携を図りたい。

＜労働局コメント＞

地方における「しごとの創生」を実現するためには、大都市圏から地方で働く人材を呼び戻すことが重要な課題のひとつであり、地方自治体と連携することが重要。

実行委員会では、同じメンバーで連携事業の検討を行っているため、課題・行うべき取組の意識が共有化をされており、迅速・効果的な事業を展開しやすい。